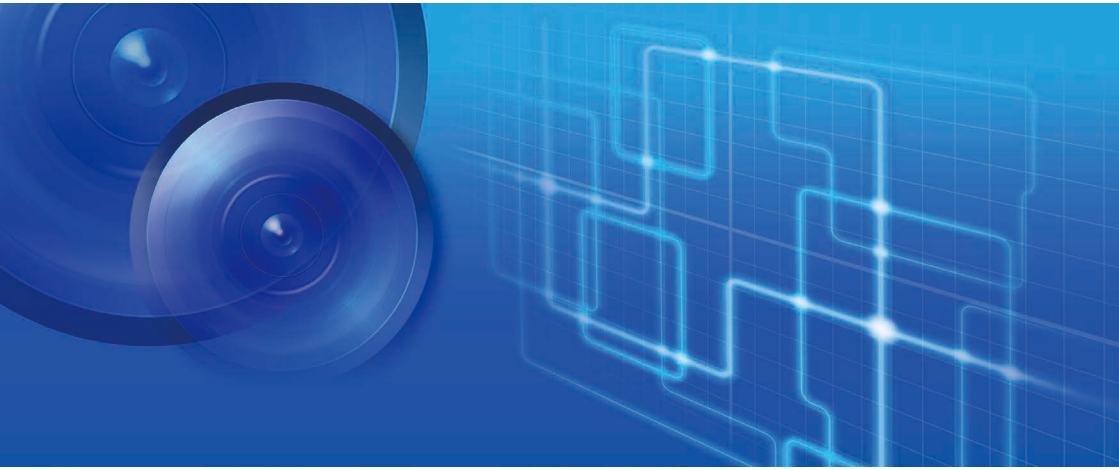
Canon

ネットワークカメラ

操作ガイド ボタン編



ME20F-SHN

HDMI

ご使用の前に必ずこの使用説明書をお読みください。

日本語

Contents

本書について 4

撮　影

メニューで設定を変える 6
　メニュー操作の基本 6
撮影画面を表示する 9
映像の信号形式を選ぶ 11
カメラモードを選ぶ 12
カメラダイレクト設定を使う 13
アイリスを調整する 14
　マニュアルで調整する 14
　一時的に自動で調整する
　（プッシュオートアイリス） 15
露出を調整する 17
　マニュアルで調整する（AE*シフト） 17
　測光方式を設定する 17
ゲインを調整する 18
　設定できるゲイン 18
　調整する 18
ゲインの上限値を設定する
（AGC*リミット） 19
　設定できるゲインの上限値 19
　設定する 19
シャッタースピードを調整する 20
　設定できるシャッタースピード 20
　調整する 20
NDフィルターを使用する 22
　設定できるNDフィルター 22
　設定する 22
ホワイトバランスを調整する 23
　設定できるホワイトバランス 23
　オートホワイトバランス（AWB）
　で調整する 23
　ホワイトバランスセットで調整する 24
　プリセット設定／色温度設定
　で調整する 26
フォーカスを調整する 27
　マニュアルでフォーカスを調整する 27
　ワンショットAFでフォーカス
　を調整する 28
　ワンショットAFでフォーカス
　を調整する領域を選択する 30
　フォーカスリミットを設定する 30
アスペクトマーカーを表示する 32
　設定できるアスペクトマーカー 32
　設定する 32
赤外撮影をする 34

カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する.....36
機能を変更する.....37
アサインボタンに割り当てた機能を使う.....37
カスタムピクチャーを使用する.....38
カスタムピクチャーファイルを選ぶ.....38
画質を調整してカスタムピクチャーファイルとして登録する.....40
カスタムピクチャーの設定項目.....41
表示をカスタマイズする.....44
カスタムディスプレイで設定できる項目.....44

メニュー

メニュー一覧.....46
メニューの階層.....46
メニューの設定項目.....47

その他

トラブルシューティング.....58
警告表示とエラーメッセージ.....59
索引.....60
商標について.....62

本書について

この『操作ガイド ボタン編』は、カメラ後面のボタンおよびジョイスティックでの操作について説明しています。あらかじめ『セットアップガイド』を参照の上、カメラのセットアップを完了させてから本書をご覧ください。

本文中の表記

ご注意　必ず守っていただきたいこと

MEMO　知っておいていただきたいこと

📖　参照ページ/ガイドを示す

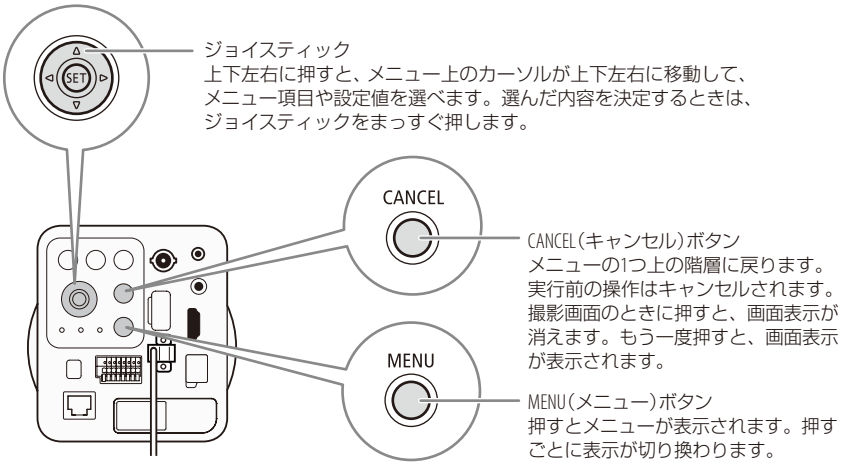
- 本書で使用しているイラストのレンズはEF70-200mm F2.8L IS II USMとCN7×17 KAS S/E1です。
- 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。

1 撮影

メニューで設定を変える 6
撮影画面を表示する 9
映像の信号形式を選ぶ 11
カメラモードを選ぶ 12
カメラダイレクト設定を使う 13
アイリスを調整する 14
露出を調整する 17
ゲインを調整する 18
ゲインの上限値を設定する 19
シャッタースピードを調整する 20
NDフィルターを使用する 22
ホワイトバランスを調整する 23
フォーカスを調整する 27
アスペクトマーカーを表示する 32
赤外撮影をする 34

メニューで設定を変える

本機のさまざまな機能をメニューで設定します。ここではメニュー設定の基本操作や共通操作について説明しています。



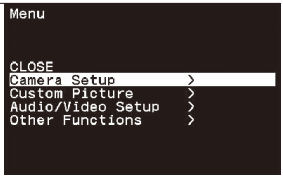
メニュー操作の基本

MENU

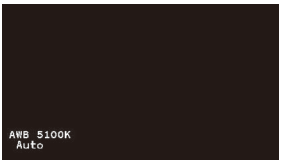
1 メニューを表示させる

① MENUボタンを押す。

- メニュー操作モードになり、画面にメニューが表示される。
- MENUボタンを押すごとに画面表示がメニュー→撮影画面の順に切り換わる。
- メニューは、最後にメニューを設定したときの状態が保持されたまま表示される（電源をOFF／ONすると初期状態に戻る）。



メニュー



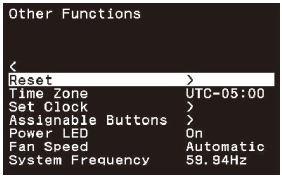
撮影画面

2 設定するメニューを選ぶ

① ジョイスティックを上下に押して、設定するメニューを選ぶ。
- 選んでいるメニューがオレンジ色で表示される。

② ジョイスティックをまっすぐ押す*。
- 選んだメニューのサブメニューが表示され、カーソルがメニュー項目に移動する。
- ジョイスティックを右に押して、カーソルをメニュー項目へ移動することもできる。
- メニューの設定項目が1画面に収まらないときは、カーソルを上下に移動すると、メニューがスクロールする。

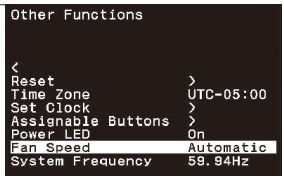
*以降、この操作を「SETを押す」と記載する。



3 設定するメニュー項目を選ぶ

① ジョイスティックを上下に押して、設定するメニュー項目を選ぶ。

② SETを押す。
- カーソルが設定内容に移動する。
- メニュー項目の右側に表示される「>」は、下の階層にメニュー項目があることを示す。このメニュー項目を選んだときは、再度①、②の操作を行って、下の階層のメニュー項目を選ぶ。
- CANCELボタンを押すと、カーソルが1つ上の階層に戻る。メニュー画面の左上に「<」が表示されているときは、「<」にカーソルを合わせてSETを押す、またはジョイスティックを左に押しても1つ上の階層に戻る。

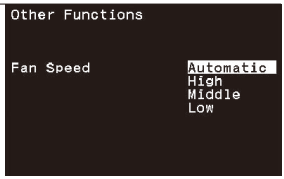


4 設定内容を選び、設定する

① ジョイスティックを上下に押して、設定内容を選ぶ。

② SETを押す。

- 選んだ設定内容が確定し、上の階層のメニュー項目に戻る。



5 メニューを消す

① MENUボタンを押す。

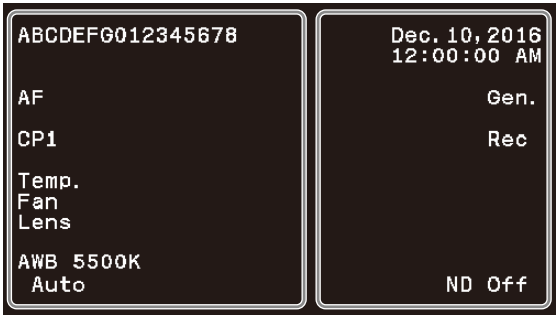
- メニュー操作モードが終了し、メニューが消える。
- 「Menu」の「CLOSE」を選び、SETを押してもメニューは消える。

MEMO

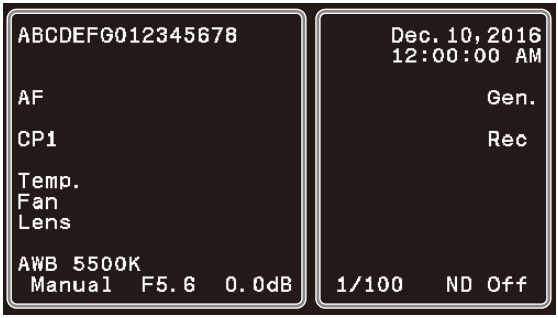
- 他の機能の設定内容などによって設定できない項目は、灰色で表示されます。
- MENUボタンを押すと、メニューはいつでも終了します（Camera Name入力時を除く）。
- リモートコントローラーRC-V100（別売）を接続しているときは、RC-V100のMENUボタン、CANCELボタン、上/下/左/右/SET（設定）ボタンが本機のMENUボタン、CANCELボタン、ジョイスティックと同様に機能します。

撮影画面を表示する

カメラモード（📖12）によって表示内容が変わります。



「Auto」の画面例



「Auto」以外の画面例

左側と中央

表示	説明
ABCDEFG012345678	カメラ名称（📖54）
AF	ワンショットAF（📖28）
CP1 ～ CP4、EOS、WDR、C.Log、Blue、Green、Crisp	カスタムピクチャーファイル（📖38 ～ 42）
Temp.（赤文字）	温度警告（📖59）
Fan（赤文字）	冷却ファン警告（📖59）
Lens（赤文字）	レンズ通信エラー（📖59）

表示	説明
AWB　00000K	オートホワイトバランス（📖23）
WB-A、WB-B　00000K	ホワイトバランスセット（📖24）
Dylt　±0	ホワイトバランスプリセット（太陽光）と微調整値（📖26）
Tung　±0	ホワイトバランスプリセット（電球）と微調整値（📖26）
Kelv　00000K	ホワイトバランス色温度と色温度設定値（📖26）
Auto/Tv/Av/AGC/Manual	カメラモード（📖12）
F0.0、Clsd*	F値（📖14） カメラモードが「Tv」のときは、灰色表示。「Auto」のときは非表示 * EFシネマレンズ装着時のみ（📖『セットアップガイド』）。
00.0dB	ゲイン（📖18） カメラモードが「Tv」、「Av」、「AGC」のときは、灰色表示。「Auto」のときは非表示

右側

表示	説明
mmm.dd.yyyy HH:MM:SS	日時表示（📖51）
Rec	外部レコーダーに記録を要求中（📖『セットアップガイド』）
1/0000	シャッタースピード（📖20） カメラモードが「Av」のときは、灰色表示。「Auto」のときは非表示
ND 0/00、ND Off	NDフィルター（📖22） カメラモードが「Manual」以外で、NDモードが「Automatic」のときは、灰色表示。 カメラモードが「Auto」で、NDモードが「Automatic」のときは、非表示
IR	赤外撮影（📖34）

MEMO

- 撮影画面でCANCELボタンを押すと、画面表示が消えます。もう一度CANCELボタンを押すと、画面表示が表示されます（📖6）。
- 576P、480P入力のみ対応の外部モニターを接続するときは、HDMI OUT端子を使って接続してください。
- 576P、480Pの出力信号には、メニューなど画面表示の情報が重畳されません。

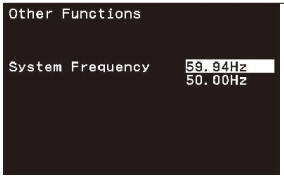
映像の信号形式を選ぶ

映像の信号形式を選びます。信号形式は、解像度とフレームレートの組み合わせからなります。フレームレートは、システム周波数によって選べる値が異なります。

MEMO

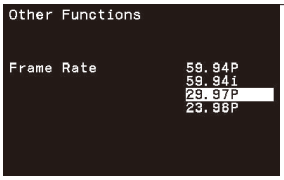
- ネットワーク経由で映像出力ができるのは、システム周波数「59.94Hz」、フレームレート「29.97P」、解像度「1920×1080」の組み合わせのみです。

解像度	システム周波数／フレームレート							
	59.94Hz				50.00Hz			
	59.94P	59.94i	29.97P	23.98P	50.00P	50.00i	25.00P	25.00PsF
1920×1080	●	●	●	●	●	●	●	●
1280×720	●	—	●	●	●	—	●	—



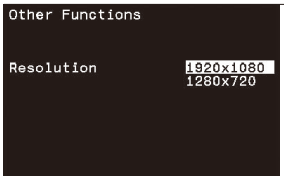
1 システム周波数を選ぶ

① Other Functionsメニュー ➤「System Frequency」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② 「59.94Hz」、または「50.00Hz」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 現在のシステム周波数から変更したときは、本機が再起動する。
- 外部モニターに何も表示されないときは（📖58）



2 フレームレートを選ぶ

① Other Functionsメニュー ➤「Frame Rate」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。



3 解像度を選ぶ

① Other Functionsメニュー ➤「Resolution」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② 「1920×1080」、または「1280×720」を選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

- 選択した解像度によって、フレームレートの設定が自動的に変更される場合があります。必要に応じて、フレームレートを設定し直してください。

カメラモードを選ぶ

カメラモードは、5つのモードから選びます。

Auto（オート）：　露出が適正になるように、アイリス、ゲイン、シャッタースピードを自動で調整します。

Tv（シャッター優先AE）：　シャッタースピードを手動で設定できます。シャッタースピードを設定すると被写体の明るさに応じて、アイリス、ゲインを自動で調整します。低照度から動きの速い被写体まで撮影環境に合わせて撮影できます。

Av（絞り優先AE）：　絞り（アイリス）を手動で設定できます。絞り値（F値）を設定すると被写体の明るさに応じて、ゲイン、シャッタースピードを自動で調整します。絞り値を調整すると、被写界深度を変えて撮影できます。

AGC（Auto Gain Control）：　シャッタースピードと絞り（アイリス）を手動で設定できます。シャッタースピード、アイリスを設定すると被写体の明るさに応じて、ゲインを自動で調整します。

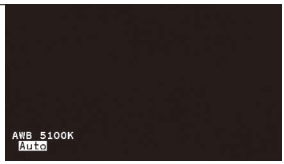
Manual（マニュアル）：　アイリス、ゲイン、シャッタースピード、NDフィルター、ホワイトバランスを手動で調整できます。

カメラモードが「Manual」以外のとき、NDフィルター（📖22）とホワイトバランス（📖23）は自動で調整しますが、手動でも操作できます。

1 カメラモードを選ぶ

① 撮影画面でSETを押す。
- カメラモードにカーソルが合っていないときは、ジョイスティックを左右に押して、カメラモードにカーソルを合わせる。

② ジョイスティックを上下に押して、設定したいカメラモードを選ぶ ➤ SETを押す。



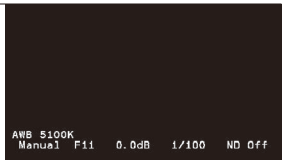
MEMO

- Camera Setupメニュー ➤「AE Response」で、自動露出の応答性を変更できます（カメラモードが「Manual」以外のとき、またはカメラモードが「Manual」のときにプッシュオートアイリスを使用時）（📖47）。
- Camera Setupメニュー ➤「Auto Slow Shutter」で、カメラモードが「Auto」または「Av」のときのシャッタースピードを、現在設定しているフレームレートより下げないように設定できます（📖47）。
- カメラモードが「Manual」以外のときに明るさが変わると、露出がなめらかに変化しないことがあります。
- はじめて電源を入れたときや、設定をリセットしたときは、カメラモードが「Auto」になります。

カメラダイレクト設定を使う

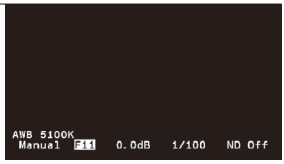
ジョイスティックを操作して、カメラモード、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、NDフィルター、ホワイトバランスを設定できます。ここでは、基本的な操作を説明します。詳細については各機能のページをご覧ください。

1 カメラモードを「Auto」以外に設定する（📖12）



2 カメラダイレクト設定に入る

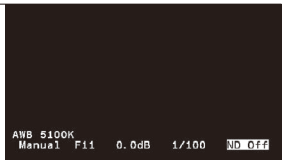
① 撮影画面でSETを押す。
- いずれかの項目にカーソルが合う。



3 設定する

① ジョイスティックを左右に押して、設定したい項目にカーソルを合わせる。
- ジョイスティックを左右に押すごとに、設定対象が切り換わる。

② ジョイスティックを上下に押して、設定値を選ぶ ➤ SETを押す。
- 設定が決定され、カメラダイレクト設定を終了する。
- カーソル表示が解除される。



MEMO

カメラダイレクト設定が終了する場合

- 約6秒間操作しなかったとき。
- MENUボタンやCANCELボタンを押したとき。

アイリスを調整する

アイリスを調整できます。調整方法はマニュアルとプッシュオートアイリスから選びます。設定可能な値（F値）は取り付けたレンズによって変わります。

マニュアル：　任意のF値に手動調整する。（カメラモードが「Av」、「AGC」または「Manual」のとき）

プッシュオートアイリス：　アサインボタンでF値を一時的に自動調整する。（カメラモードが「Manual」のとき）

カメラからのアイリス調整に対応するEFシネマレンズを使うとき

レンズ側の操作部がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

レンズ	レンズの操作部名称	オート
CN7×17 KAS S/E1 CN20×50 IAS H/E1	アイリス動作モード切替えスイッチ	A
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	アイリスオート／マニュアル切替えスイッチ	A

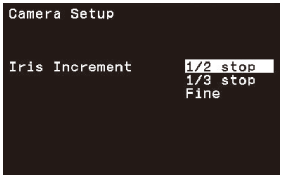
マニュアルで調整する

1 カメラモードを「Av」、「AGC」または「Manual」に設定する（📖12）

- アイリス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにする（📖14、『セットアップガイド』）。

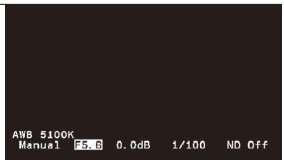
2 F値の刻み幅を選ぶ

① Camera Setupメニュー ➤「Iris Increment」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② 「1/2 stop」、「1/3 stop」、または「Fine」（1/3 stopより細かい刻み幅）のいずれかの設定を選ぶ ➤ SETを押す。
③ MENUボタンを押す。



3 アイリスを調整する

① SETを押す。
② ジョイスティックを左右に押して、F値にカーソルを合わせる。
③ ジョイスティックを上下に押して、任意のF値を選ぶ ➤ SETを押す。
- 操作2で「Fine」を選んだときは、「1/3 stop」刻みで表示される。



MEMO

EFシネマレンズ（📖『セットアップガイド』）を装着しているとき

- アイリスがクローズに近づくと、F値は灰色文字で表示されます。そのあと、F値は白色文字で「Clsd」と表示されますが、「Clsd」と表示されていても、アイリスが完全に閉じていないことがあります。
- アイリスがオープン、またはクローズの状態からF値を変更する場合、アイリスの動作に複数回の調整操作が必要なときがあります。

● ズーム操作によりF値が変化するEFレンズ*を装着したときは、Camera Setupメニュー ➤「Zoom-Iris Correct.」で、ズーム操作に連動してF値を補正するかどうかを選べます（📖48）。
* 一部のEFレンズやEFシネマレンズを除く。

● リモートコントローラー RC-V100（別売）を使ってアイリスを調整するときは、RC-V100のIRIS（アイリス）ダイヤルを時計方向に回すとF値が小さくなり、反時計方向に回すとF値が大きくなります（調整方向はRC-V100側の設定で変更できます）。

● 本機で表示、または設定するF値は目安です。

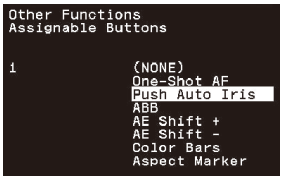
一時的に自動で調整する（プッシュオートアイリス）

アサインボタンを押している間、アイリスを自動的に調整して適正な露出にします。

例：アサイン1ボタンに「Push Auto Iris」を割り当てる場合

1 アサイン1ボタンに「Push Auto Iris」を割り当てる（📖37）

① Other Functionsメニュー ➤「Assignable Buttons」➤割り当てるアサインボタン番号を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② 「Push Auto Iris」を選ぶ ➤ SETを押す。



2 カメラモードを「Manual」に設定する（📖12）

3 アサイン1ボタンを押し続ける

● 適正露出になるように絞りが自動的に調整される。

4 アサイン1ボタンを離す

● アイリスの自動調整が終了し、F値はボタンを離したときの値で固定される。

撮影

MEMO

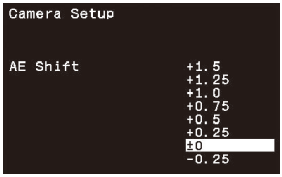
- Camera Setupメニュー ➤「AE Response」で、自動露出の応答性を変更できます（カメラモードが「Manual」以外のとき、またはカメラモードが「Manual」のときにプッシュオートアイリスを使用時）（📖47）。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）のFOCUS（フォーカス）ダイヤル操作中は、プッシュオートアイリスを使用できません。

露出を調整する

露出を意図的に補正して明るめや暗めに撮影できます（カメラモードが「Manual」以外のとき、またはカメラモードが「Manual」のときにプッシュオートアイリスを使用時）。補正値は－2.0段～＋2.0段まで17段階で設定できます。

マニュアルで調整する（AE*シフト）

*AE＝Automatic Exposure（自動露出）



① Camera Setupメニュー ➤「AE Shift」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② 任意の補正値を選ぶ ➤ SETを押す。
- カメラモードが「Manual」以外のときは、選んだ補正値の効果を画面で見ながら選べる。

－2.0、－1.75、－1.5、－1.25、－1.0、－0.75、－0.5、－0.25、±0、+0.25、+0.5、+0.75、+1.0、+1.25、+1.5、+1.75、+2.0

MEMO

- 「AE Shift +」と「AE Shift -」を割り当てたアサインボタンで、調整することもできます（📖37）。
- プッシュオートアイリスとAEシフトは、同時に調整できません。

測光方式を設定する

カメラモードが「Manual」以外のときや、カメラモードが「Manual」のときにプッシュオートアイリスでアイリスを自動調整するとき、撮影シーンに合わせて測光方式を4種類から選べます。

① Camera Setupメニュー ➤「Light Metering」を選ぶ ➤ SETを押す。
② いずれかの設定を選ぶ ➤ SETを押す。

「Backlight」（バックライト）：	逆光のシーンを撮影するとき、画面中の暗部をより明るく制御する。
「Standard」（スタンダード）：	画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。
「Spotlight」（スポットライト）：	スポットライトが当たった被写体を撮影するとき、スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。
「Selectable」（セレクタブル）：	設定ページ（ネットワーク経由）で設定した領域が最適な明るさになるように制御する（領域の設定方法は『操作ガイドネットワーク編』参照）。

MEMO

- カメラモードが「Manual」のとき、測光方式を変えても露出は変更されません。手動で適正露出に調整してください。

ゲインを調整する

カメラモードが「Manual」のとき、ゲインを調整できます。

設定できるゲイン

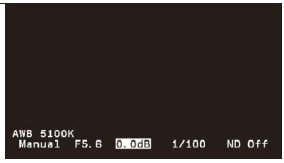
0.0dB ～ 75.0dB（3.0dB刻み）

調整する

1 カメラモードを「Manual」に設定する（📖 12）

2 ゲインを調整する

① SETを押す。
② ジョイスティックを左右に押して、ゲインにカーソルを合わせる。
③ ジョイスティックを上下に押して、任意のゲインを選ぶ ➤ SETを押す。
● 任意のゲインは画面を確認しながら選べます。



MEMO

● ゲインを上げると画面が多少ざらつくことがあります。
● ゲインを上げると、画面に赤、緑、青の輝点が出ることがあります。このときはシャッタースピードを上げるか、ゲインを下げてください。
● リモートコントローラー RC-V100（別売）を使ってゲインを調整するときは、RC-V100のISO/GAIN上ボタンを押すとゲインが上がり、下ボタンを押すとゲインが下がります。

ゲインの上限値を設定する（AGC*リミット）

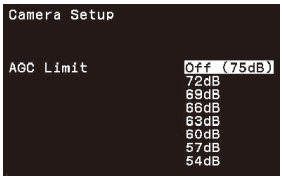
カメラモードが「Manual」以外のとき、ゲインの自動調整の上限値を設定しておくと、ゲインが上がることによるノイズの発生を抑制できます。

*AGC＝Auto Gain Control

設定できるゲインの上限値

Off（75dB）～ 36dB（3dB刻み）

設定する



① Camera Setupメニュー ➤「AGC Limit」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② いずれかの値を選ぶ ➤ SETを押す。

撮影

シャッタースピードを調整する

シャッタースピードを調整すると、動きの速い被写体を鮮明に撮影する、低照度のシーンを明るく撮影するなど被写体や撮影環境に合わせて撮影できます。

設定できるシャッタースピード

フレームレートやシステム周波数によって設定できるシャッタースピードが異なります。

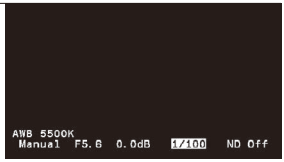
	フレームレート				
フレームレート	59.94P / 59.94i	29.97P	23.98P	50.00P / 50.00i	25.00P / 25.00PsF
システム周波数	59.94Hz			50.00Hz	
シャッタースピード	1/4、1/5、1/6、1/7、1/8、1/10、1/12、1/15、1/17、1/20、1/24、1/30、1/34、1/40、1/48、1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/360、1/420、1/500、1/600、1/720、1/840、1/1000、1/1200、1/1400、1/1700、1/2000		1/3、1/4、1/5、1/6、1/7、1/8、1/10、1/12、1/15、1/17、1/20、1/24、1/30、1/34、1/40、1/48、1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/360、1/420、1/500、1/600、1/720、1/840、1/1000、1/1200、1/1400、1/1700、1/2000	1/3、1/4、1/5、1/6、1/7、1/8、1/10、1/12、1/14、1/16、1/20、1/25、1/29、1/33、1/40、1/50、1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/350、1/400、1/500、1/600、1/700、1/800、1/1000、1/1200、1/1400、1/1600、1/2000	

調整する

1 カメラモードを「Manual」、「Tv」または「AGC」に設定する（📖 12）

2 シャッタースピードを選ぶ

① SETを押す。
② ジョイスティックを左右に押して、シャッタースピードにカーソルを合わせる。
③ ジョイスティックを上下に押して、任意のシャッタースピードを選ぶ ▶ SETを押す。



MEMO

- リモートコントローラー RC-V100（別売）を使ってシャッタースピードを調整するときは、RC-V100のSHUTTER上ボタンを押すとシャッタースピードが上がり、SHUTTER下ボタンを押すとシャッタースピードが下がります。

人工光源（蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなど）の照明下でフリッカーが気になるとき

- Camera Setupメニュー ➤「Flicker Reduction」を「Automatic」にすると、人工光源のフリッカーを自動的に検知して補正します*（📖47）。

  *撮影条件によっては、補正できないこともあります。
- 人工光源の照明下で撮影する場合、設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出ることがあります。フリッカーは、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると、抑制できることがあります。電源周波数が50Hzのときは1/50秒*、または1/100秒を、60Hzのときは1/60秒、または1/120秒を選んでください。

  *フレームレートによっては選択できません。

NDフィルターを使用する

NDフィルターを使用すると、明るい屋外の撮影でもアイリスを開けて被写界深度の浅い映像を表現できます*。NDフィルターは2種類から選べます。

*アイリスを絞り込んだときに発生する「小絞りによるボケ」の回避にも使用できます。

設定できるNDフィルター

1/8（3 stops）、1/64（6 stops）

設定する

MENU

1 カメラモードが「Manual」以外のとき

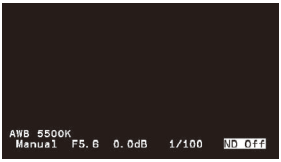
NDモードを「Manual」に設定する

① Camera Setupメニュー ➤「ND Mode」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② 「Manual」を選ぶ ➤ SETを押す。
③ MENUボタンを押す。

2 NDフィルターを選ぶ

① SETを押す。
② ジョイスティックを左右に押して、NDフィルターにカーソルを合わせる。
③ ジョイスティックを上下に押して、任意のNDフィルターを選ぶ ➤ SETを押す。

カメラモード「Auto」時



カメラモード「Manual」時

MEMO

- シーンによっては、NDフィルターを入／切すると、わずかに発色が変化することがあります。このときは、ホワイトバランスをセットして撮影すると効果的です（📖 24）。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）を使ってNDフィルターを選ぶときは、RC-V100のNDボタンを押してNDフィルターを選びます。RC-V100のNDフィルターランプの意味は、次の通りです。
  OFF：NDフィルターなし　1：1/8　2：1/64　3、4：使用しない

ホワイトバランスを調整する

照明や太陽光の光源の色温度に応じて、ホワイトバランスを4種類から選べます。

設定できるホワイトバランス

オートホワイトバランス（AWB）：	常に適切なホワイトバランスになるように自動調整する。
ホワイトバランスセット（WB-A、WB-B）：	グレーカードや白い無地の被写体を映して基準白色を取り込む。「WB-A」、「WB-B」の2種類の設定を登録できる。
プリセット設定（Dylt、Tung）：	「Dylt（太陽光）」、「Tung（電球）」のいずれかを選ぶ。－9 ～ +9の範囲で微調整可能。
色温度設定（Kelv）：	2000K ～ 15000K（100K刻み）の範囲で色温度を設定する。

MEMO

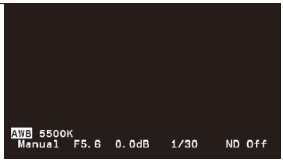
- カスタムピクチャーの「Color Matrix」または「White Balance」を設定しているときは、それらの設定がホワイトバランス設定より優先されます。
- Camera Setupメニュー ➤「Shockless WB」を「On」にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値をなめらかに変化させます（📖 47）。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）のA ／ Bボタン、PRESETボタン、ボタン、AWBボタンを使って、調整できます。
- 本機で表示、または設定する色温度は目安です。

オートホワイトバランス（AWB）で調整する

常に適切なホワイトバランスになるように自動で調整します。光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスも自動的に調整します。

1 オートホワイトバランス（AWB）に切り換える

① SETを押す。
② ジョイスティックを左右に押して、ホワイトバランスにカーソルを合わせる。
③ ジョイスティックを上下に押して、「AWB」（オートホワイトバランス）を選ぶ ➤ SETを押す。



撮影

MEMO

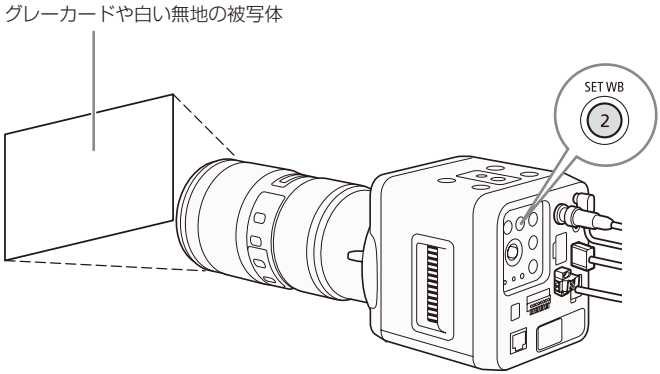
オートホワイトバランスで画面の色が不自然なときは

次のような条件で撮影する場合、画面の色が不自然なときは、ホワイトバランスセットで調整してください。

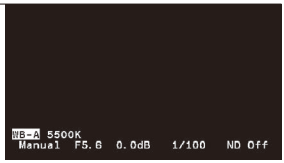
- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯／ LED照明下での撮影。

ホワイトバランスセットで調整する

実際に撮影する環境下で基準白色を取り込みます。「WB-A」と「WB-B」の2種類の設定を登録できます。



1 ホワイトバランスセット（「WB-A」、「WB-B」）に切り換える



① SETを押す。
② ジョイスティックを左右に押して、ホワイトバランスにカーソルを合わせる。
③ ジョイスティックを上下に押して、「WB-A」、または「WB-B」を選ぶ ➤ SETを押す。

登録済みのホワイトバランスセットを選ぶとき

「WB-A」、または「WB-B」を選ぶ ➤ SETを押す。以降の操作は不要。

- ホワイトバランスセットを登録していないときは、選んだ「WB-A」／「WB-B」が画面上で点滅する。

2 実撮影と同じ照明条件下にグレーカードや白い無地の被写体を置き、画面いっぱいに写す

3 基準白色を取り込んで、登録する

SET WBボタンを押す。

- 「WB-A」、または「WB-B」が速く点滅する。
- 調整中は、グレーカードや白の無地の被写体を画面いっぱいに写し続ける。
- 点滅→点灯に変わったら調整が終わり、登録される。登録したホワイトバランスセットは、電源を切っても記憶されている。

MEMO

ホワイトバランスセットで調整するとき

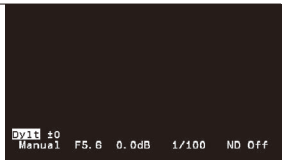
- 場所や明るさが変わったとき、NDフィルターを切り換えたときは、ホワイトバランスを再調整してください。
- 光源によっては、ごくまれに「WB-A」、「WB-B」が速い点滅→点灯に変わらない（速い点滅から遅い点滅に変わる）ことがありますが、そのときでもオートホワイトバランスより適切に調整されていますので、そのまま撮影できます。

プリセット設定／色温度設定で調整する

屋外（太陽光）用、または屋内（電球）用のプリセット設定か、色温度設定を選んでホワイトバランスを調整できます。プリセット設定は、+9 ～ ±0 ～ −9の範囲で微調整できます。色温度設定は、2000K ～ 15000Kの範囲を100K刻みで設定できます。

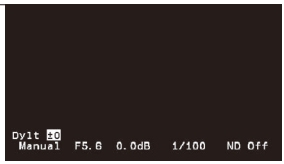
1 プリセット設定（「Dylt」、「Tung」）／色温度設定（「Kelv」）に切り換える

① SETを押す。
② ジョイスティックを左右に押して、ホワイトバランスにカーソルを合わせる。
③ ジョイスティックを上下に押して、プリセット設定（「Dylt」、「Tung」）、または色温度設定（「Kelv」）を選ぶ。



2 プリセット設定、または色温度設定を調整する

① ジョイスティックを右に押して、微調整値、または色温度にカーソルを合わせる。
● SET WBボタンでもカーソルを合わせられる。
② ジョイスティックを上下に押して、任意の微調整値、または色温度を選ぶ ➤ SETを押す。



フォーカスを調整する

フォーカスの調整は、マニュアルフォーカスとワンショットAFの2種類あります。P.29のMEMOもあわせてご覧ください。

マニュアルフォーカス：　レンズのフォーカスリングを回して、手動でフォーカスを調整する。

ワンショットAF *1：　アサインボタンで一時的にフォーカスを自動調整する。

*1 マニュアルフォーカスレンズ装着時とCN20×50 IAS H/E1装着時を除く。

フォーカス調整	調整方法	レンズのフォーカスモードスイッチ（フォーカスサーボ／マニュアル切替えノブ）
マニュアルフォーカス	フォーカスリング	MF ／ MANU.
	FOCUS（フォーカス）ダイヤル*2	AF ／ SERVO
ワンショットAF	アサインボタン（One-Shot AF割り当て）	AF ／ SERVO

*2 リモートコントローラー RC-V100（別売）を接続時。

カメラからのフォーカス調整に対応するEFシネマレンズを使うとき

レンズ側の操作部がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

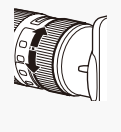
レンズ	レンズの操作部名称	オート	マニュアル
EFレンズ	フォーカスモードスイッチ	AF	MF
CN7×17 KAS S/E1 CN20×50 IAS H/E1	フォーカスサーボ／マニュアル切替えノブ	SERVO	MANU.
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	オートフォーカス／マニュアルフォーカス切替えスイッチ	AF	MF

マニュアルでフォーカスを調整する

マニュアルでフォーカスを調整できます。

1 **レンズのフォーカスモードスイッチをMFにする**

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのフォーカス設定をマニュアルにする（📖27、『セットアップガイド』）。



2 **フォーカスリングを回して、ピントを合わせる**

撮影

MEMO

- EFレンズによっては、フォーカスモードスイッチをAFにしたまま、フォーカスリングで調整できるものがあります。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）を使ってフォーカスを調整するときは、レンズのフォーカスモードスイッチ（またはフォーカスサーボ／マニュアル切替えノブ）を、AF（またはSERVO）のままにしてください。
- RC-V100を使ってフォーカスを調整するときは、RC-V100のFOCUS（フォーカス）ダイヤルを時計方向に回すと無限遠方向に、反時計方向に回すと至近方向にフォーカスを調整できます（調整方向はRC-V100側の設定で変更できます）。
- レンズのアクセサリーを使ってフォーカスを調整するときは、Camera Setupメニュー ➤「Focus Control」の設定を変更してください（📖 49）。

ワンショットAFでフォーカスを調整する

被写体に自動でピントを合わせます。操作を行ったときに1度だけ合焦動作を行います。

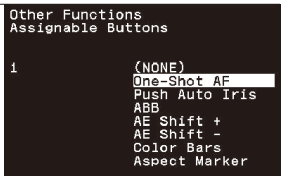
例：アサイン1ボタンに「One-Shot AF」を割り当てる場合

1 レンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする（📖27、『セットアップガイド』）。

2 アサイン1ボタンに「One-Shot AF」を割り当てる（📖37）

① Other Functionsメニュー ➤「Assignable Buttons」➤ 割り当てるアサインボタン番号を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② 「One-Shot AF」を選ぶ ➤ SETを押す。



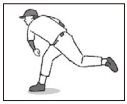
3 アサイン1ボタンを押し続ける

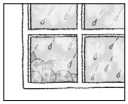
- フォーカスを調整している間、撮影画面の「AF」が速く点滅する。ピントが合うと「AF」が点灯に変わる。アサインボタンを離すと、撮影画面の「AF」は消える。
- ワンショットAFが使用できないときや、ピントが合わないときは撮影画面の「AF」が赤文字で遅く点滅する。

オートフォーカスでピントが合いにくいとき

強い光が反射

明暗差がない


動きが速い


水滴が付いた
ガラス越しの撮影

低照度

MEMO

- フレームレートとシャッタースピードの組み合わせが以下の場合、ワンショットAFが使用できません。

フレームレート	シャッタースピード
59.94P / 59.94i、29.97P	1/4秒、1/5秒、1/6秒
23.98P	1/3秒、1/4秒、1/5秒
50.00P / 50.00i、25.00P / 25.00PsF	1/3秒、1/4秒、1/5秒

マニュアルフォーカス、オートフォーカスで調整するとき

- ピントを合わせたあとでズーム操作を行うと、ピントがズレることがあります。
- フォーカス調整時にレンズの先端部分やフォーカスリングが動くときは、動いている部分に触れないでください。

オートフォーカスで調整するとき

- ゲインを上げると、ピントが合いにくくなることがあります。
- カスタムピクチャーで、ガンマをWide DR、またはCanon Logに設定すると、ピントが合いにくくなることがあります。
- ピントが合う位置は、被写体条件や明るさ、ズーム位置などの撮影条件によってわずかに変動します。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。

温度変化が大きい環境で使用する場合

- 温度変化の大きい環境では、フォーカス位置がズレる場合があります。必要に応じてフォーカスを再設定し、ピントが合っているかを確認してください。

ピント合わせに時間がかかる場合

- フレームレートが29.97P、25.00P、25.00PsF、23.98Pのいずれかのとき。
- 一部のEFレンズでは、ピントが合うまでの時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。詳細情報については、キヤノンのホームページでご確認ください。

ワンショットAFでフォーカスを調整する領域を選択する

ワンショットAFでフォーカスを調整する領域を「Center」または「Selectable」から選べます。

① Camera Setupメニュー ➤「AF Frame Position」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

「Center」（センター）：	画面中央の被写体にピントが合うようにフォーカスを自動調整する。
「Selectable」（セレクタブル）：	設定ページ（ネットワーク経由）で設定した領域内の被写体にピントが合うようにフォーカスを自動調整する（領域の設定方法は『操作ガイドネットワーク編』参照）。

フォーカスリミットを設定する

ワンショットAFでフォーカスを調整するとき、装着しているレンズの至近側～無限遠側の範囲でフォーカスを制限するかどうかを選べます。

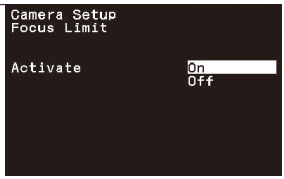
フォーカスの制限位置を有効にする

1 レンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする（📖27、『セットアップガイド』）。

2 フォーカスの制限位置を有効にする

① Camera Setupメニュー ➤「Focus Limit」➤「Activate」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② 「On」を選ぶ ➤ SETを押す。



フォーカスの無限遠側／至近側を制限する

無限遠側を制限する

① 制限したいフォーカス位置にフォーカスを合わせる。
② Camera Setupメニュー ➤「Focus Limit」➤「Far」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
- フォーカス制限位置が設定されていないときは「Limit Off」、フォーカス制限位置が設定されているときは「Limit On」と表示される。

③「Set」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 解除するときは「Reset」を選ぶ。

至近側を制限する

① 制限したいフォーカス位置にフォーカスを合わせる。
② Camera Setupメニュー ➤「Focus Limit」➤「Near」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
- フォーカス制限位置が設定されていないときは「Limit Off」、フォーカス制限位置が設定されているときは「Limit On」と表示される。

③「Set」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 解除するときは「Reset」を選ぶ。

MEMO

- 電源を切る、またはレンズを交換すると、フォーカスリミットの設定が解除されます。電源を入れ直したり、レンズを交換したときは、設定し直してください。
- フォーカスの制限は、後から設定した位置が優先されます。
  - 先に設定した無限遠側の制限位置が、後から設定した至近側の制限位置内に入ったときは、至近側の制限位置が優先される（無限遠側の制限位置は解除される）。
- フォーカスが制限されている状態でワンショットAFを実行し、制限位置内にフォーカスが合うポイントがないとき、フォーカスはワンショットAFを実行する前のフォーカス位置付近に戻ります。
- フォーカスの制限後にズーム操作を行うと、フォーカスの制限位置がズレます。制限値を再設定してください。

アスペクトマーカーを表示する

撮影画面にアスペクトマーカーを表示できます。アスペクト比は5種類から選べます。

設定できるアスペクトマーカー

色：　黒、灰色、白

アスペクト比：　4:3、4:3 S35mm（スーパー 35mm）、1.66:1、1.85:1、2.39:1

4：3

4：3 S35mm（スーパー 35mm）

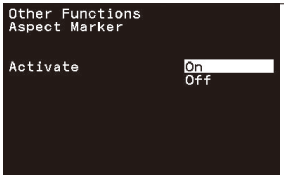
1.66：1

1.85：1

2.39：1

設定する

アスペクトマーカーを表示する

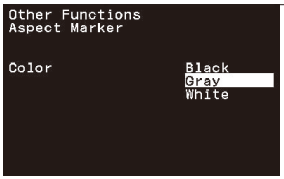


① Other Functionsメニュー ➤「Aspect Marker」➤「Activate」を順に選ぶ ➤ SETを押す。

② 「On」を選ぶ ➤ SETを押す。

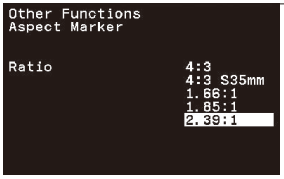
- アスペクトマーカーの表示を確認するときは、MENUボタンを押す。もう一度MENUボタンを押すと、メニュー画面に戻る。

アスペクトマーカーの色を選ぶ



① Other Functionsメニュー ➤「Aspect Marker」➤「Color」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② 「Black」、「Gray」、または「White」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

アスペクト比を選ぶ



① Other Functionsメニュー ➤「Aspect Marker」➤「Ratio」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② いずれかのアスペクト比を選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

- 「Aspect Marker」を割り当てたアサインボタンを押して、アスペクトマーカーの表示をOn ／ Offできます（📖 37）。

赤外撮影をする

通常の撮影に比べて近赤外線の受光感度が上がるため、暗い撮影シーンでも鮮明に撮影できます。カスタムピクチャーを使用したり、カメラモードの設定によりアイリスやゲインなどの項目を調整できます。

1 「Infrared」を選ぶ

① Camera Setupメニュー ➤「Infrared」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② 「On」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 撮影画面に「IR」が表示される。

2 調整する

「Infrared」が「On」の場合に調整できる項目は、下表をご覧ください。

調整項目	条件	📖
アイリス	カメラモード「Av」、「AGC」または「Manual」を選んだとき。	14
ゲイン	カメラモード「Manual」を選んだとき。	18
シャッタースピード	カメラモード「Tv」、「AGC」または「Manual」を選んだとき。	20
フォーカス	なし	27
ホワイトバランス	Custom Pictureメニュー ➤「Fine Tuning」➤「White Balance」を選んだとき。	43
NDフィルター	使用できない。	22
測光方式	調整できない。	17

MEMO

- 「Infrared」を「On」にしたとき、光源の種類によっては、オートフォーカスが合いにくくなることがあります。

2

カスタマイズ

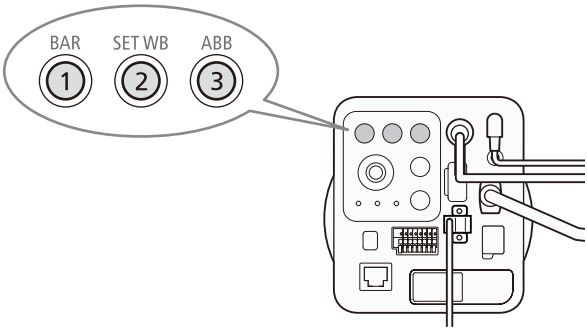
アサインボタンの機能を変更する..... 36

カスタムピクチャーを使用する..... 38

表示をカスタマイズする..... 44

アサインボタンの機能を変更する

本体に3つのアサインボタンがあります。使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズできます。リモートコントローラー RC-V100(別売)を接続すると、4つまで機能を割り当てられます。



初期設定でそれぞれのボタン名の機能 (1：BAR、2：SET WB、3：ABB、4*：Infrared)が割り当てられています。アサインボタンには次の機能を割り当てることができます。

* ボタン名の表示なし。RC-V100を接続時のみ使用可能。

機能名	機能概要	📖
(NONE)	割り当てなし。	—
One-Shot AF*1	ワンショットAFを実行する。	28
Push Auto Iris*1	プッシュオートアイリスを実行する。	15
ABB	オートブラックバランスのメニューを表示する。	*2
AE Shift +	露出を明るくする。	17
AE Shift −	露出を暗くする。	
Color Bars	カラーバーを表示する。	49
Aspect Marker	アスペクトマーカーを表示する。	32
Set WB*1	ホワイトバランスセットを登録する。ホワイトバランスのプリセット設定、または色温度設定を調整する。	24
Tele-converter	デジタルズームを使用する。拡大率は2倍、3倍、4倍	49
Infrared	赤外撮影を設定する。	34
External Rec*1	外部レコーダーへ記録の開始と停止を要求する。	*2
Custom Picture	「Custom Picture」メニューを開く。	38
Camera Mode	カメラモードを切り換える。	12

*1 アサインボタンのみの機能

*2 詳細は『セットアップガイド』参照

機能を変更する

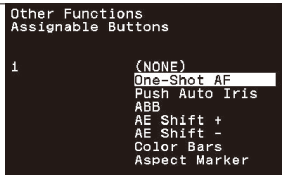
例：アサイン1ボタンに「One-Shot AF」を割り当てる場合

1 機能を割り当てる

① Other Functionsメニュー ➤「Assignable Buttons」➤「1 Color Bars*」を順に選ぶ ➤ SETを押す。

* 割り当てている機能によって表示が変わります。

② 「One-Shot AF」を選ぶ ➤ SETを押す。



アサインボタンに割り当てた機能を使う

必要なときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用します。アサインボタンを押すと、撮影画面に機能の詳細項目を選ぶメニューが表示されることがあります。そのときは、ジョイスティックを上下に押して項目を選び、SETを押します。

カスタムピクチャーを使用する

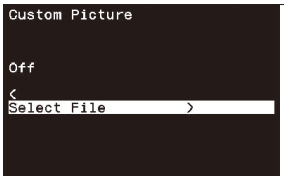
撮影条件に合わせる、意図的に効果をつけるなど画質を調整する設定ができます。調整した設定値はカスタムピクチャーファイル（CP1 ～ CP4）として本機に登録し、必要に応じて呼び出せます。

カスタムピクチャーファイルはCP1 ～ CP4、EOS Std.、Wide DR、Canon Log、Blue Screen、Green Screen、Crisp Imgから選べます。
CP1 ～ CP4：　設定値を調整して登録できます
EOS Std.、Wide DR、Canon Log、Blue Scr、Green Scr、Crisp Img：　プリセット（設定値は調整できません）

機能分類	機能	設定項目	📖
光の階調に関わるグループ	ガンマ	Gamma	41
	ブラック	Black	41
	ブラックガンマ	Black Gamma	41
	二一	Knee	42
輪郭やノイズに関わるグループ	シャープネス	Sharpness	42
	ノイズリダクション	Noise Reduction	42
色の方向性、強さ、変換に関するグループ	カラーマトリックス	Color Matrix	42
	カラーゲイン	Color Matrix －Gain	42
	色相	Color Matrix － Phase	42
	ホワイトバランス	White Balance	43
	カラーコレクション	Color Correction	43

カスタムピクチャーファイルを選ぶ

撮影に使用するカスタムピクチャーファイルを選択します。あらかじめ、画質設定をカスタムピクチャーファイルとして登録しておくと、リストから選ぶだけで希望の画質の調整値になります。



1 カスタムピクチャーファイルを選ぶ

① Custom Pictureメニュー ➤「Select File」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
- カスタムピクチャーファイルが選択可能になる。

② 設定したいカスタムピクチャーファイルを選ぶ ➤ SETを押す。
- 設定値が登録済みのときは、登録されている設定値に調整される。

MEMO

- アサインボタンに「Custom Picture」を割り当てることもできます（📖37）。

プリセットされたカスタムピクチャーについて

あらかじめ次のプリセットが用意されています。

プリセット名	ガンマ	特長
EOS Std.	EOS Std.	デジタル一眼レフカメラEOSでピクチャースタイル「スタンダード」を選択した場合の画質を再現する設定。鮮やかでくっきりした画質になる。
Wide DR	Wide DR	ポストプロダクション処理なしで使用でき、広いラチチュードを持つガンマと、ガンマに合わせたカラーマトリックスを適用する設定。
Canon Log	Canon Log	ガンマとカラーマトリックスをCanon Logにすることにより、ダイナミックレンジが広く、ポストプロダクション処理に適した色調の映像を記録する。
Blue Scr	Normal 1	LEDライトと反射指向性の高いマットのクロマキーシステムを使用してクロマキー用（ブルーバック）の撮影をするときに適した設定。青色の布を使用してクロマキー用の撮影を行うときにも使用できる。
Green Scr	Normal 1	LEDライトと反射指向性の高いマットのクロマキーシステムを使用してクロマキー用（グリーンバック）の撮影をするときに適した設定。緑色の布を使用してクロマキー用の撮影を行うときにも使用できる。
Crisp Img	Crisp Img	十分照度では、シャープネスを強く設定することで、鮮明な映像になる。また、低照度では、ノイズリダクションを強く設定することで、データサイズを抑制できる。映像をネットワークで伝送するときに適した設定。

MEMO

リモートコントローラー RC-V100（別売）を使うとき

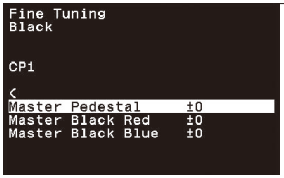
- RC-V100のCUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押すと、「Custom Picture」メニューを表示できます。
- RC-V100を使って画質の調整を行うと、選択中のカスタムピクチャーファイルの設定が変更／登録されます。
- プリセットのカスタムピクチャーファイルを選んでいると、カスタムピクチャーの設定をRC-V100から調整できません。

画質を調整してカスタムピクチャーファイルとして登録する

撮影時に良く使う画質調整設定をカスタムピクチャーファイルとして登録しておくと、次に使用するときに、リストから選ぶだけで同じ設定を簡単に呼び出せます。

1 カスタムピクチャーファイルを選ぶ（📖38）

CP1 ～ CP4のいずれかを選ぶ。



2 画質調整をする

設定項目の詳細は（📖41, 42）をご覧ください。

例：Master Pedestal（マスターペデスタル）を調整する場合

① Custom Pictureメニュー ➤「Fine Tuning」➤「Black」➤「Master Pedestal」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② ジョイスティックを上下に押して、設定値を選ぶ ➤ SETを押す。

設定を初期設定に戻すとき

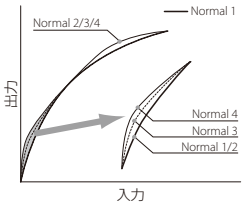
① Custom Pictureメニュー ➤「Fine Tuning」➤「Reset」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② ジョイスティックを上下に押して、いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- 初期設定は「Neutral」、「EOS Std.」、「Wide DR」、「Canon Log」、「Blue Scr」、「Green Scr」、「Linear」または「CrispImg」の8種類から選ぶ。

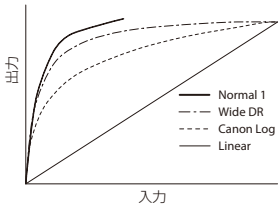
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。

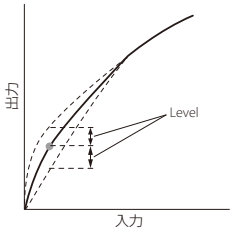
カスタムピクチャーの設定項目

カスタムピクチャーではさまざまな項目を調整できます。初期設定は太字で記載しています。

設定項目／内容・設定値
Gamma
ガンマカーブを選ぶ。 **Normal 1**： TVモニターで見るとき。 Normal 2： TVモニターで見るとき。Normal 1に対して高輝度部をより明るく撮影。 Normal 3： TVモニターで見るとき。Normal 2に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。 Normal 4： TVモニターで見るとき。Normal 3に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。 EOS Std.： デジタル一眼レフカメラEOSでピクチャースタイル「スタンダード」を選択したときの画質。 Normal 1に比べてコントラストが高い。 Wide DR： Normal 1に対して広いダイナミックレンジ。ポストプロダクション処理なしで、TVモニターで見るとき。 Canon Log： 撮像素子の特性を最大限に引き出し、広いダイナミックレンジ。ポストプロダクション処理が前提。 Linear： ガンマを適用せず、輝度の入出力特性を線形にする。研究用途などにおいて、輝度の入出力特性のデータ処理を行うときに使用。 Crisp Img： PCモニターで見るとき。白とび／黒潰れを抑制する。
Black
黒のレベル調整や色かぶりの補正を設定する。 Master Pedestal： 黒のレベルを調整する。レベルをプラスにすると黒が浮き、マイナスにすると黒が沈む。 設定値： −50 ～**±0** ～ +50 Master Black Red、Master Black Blue：黒の色かぶりをRB個別に補正する。 設定値： −50 ～**±0** ～ +50
Black Gamma
低輝度部のガンマを補正する。値を変えることで、図の範囲内で黒側のガンマカーブを調整する。 「Gamma」に「Wide DR」、「Canon Log」または「Linear」を選択しているときは、設定は無効になります。 基準ガンマからの高さ（Level）を調整する。 設定値： −50 ～**±0** ～ +50







設定項目／内容・設定値

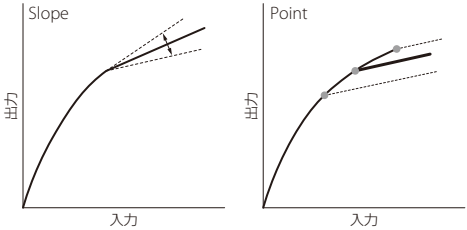
Knee

高輝度部分を圧縮して、とびの発生を抑える。
「Gamma」に「EOS Std.」、「Wide DR」、「Canon Log」、「Linear」または「Crisp Img」を選択しているときは、設定は無効になります。

Activate：　ニーを使う、使わないか選ぶ。
　　設定値：　**On**、Off

Slope：　ニーの傾き。
　　設定値：　－35 ～ **±0** ～ +50

Point：　ニーポイント。
　　設定値：　50 ～ **95** ～ 109



Sharpness

輪郭強調のレベルを調整する。　設定値：　－10 ～ **±0** ～ +50

Noise Reduction

ノイズを低減するノイズフィルターを選ぶ。数値が大きくなるほど、ノイズ低減効果が大きくなる。
設定値：　**Off**、1 ～ 12

Chroma Key Corr.

クロマキー用の撮影をするときに、特定の色（青または緑系統）を調整する。「Gamma」に「Linear」を選択しているときは、設定は無効になります。また「Color Correction」の「Select Area」が「Off」以外のときは、グレーアウトされ設定できません。

Color：	青または緑系統の色相を選択する。	設定値：	**Off**、Blue、Green
Hue：	色相を調整する。	設定値：	**0** ～ 31
Chroma：	色の彩度を調整する。	設定値：	**0** ～ 31
Area：	色相の幅を調整する。	設定値：	**0** ～ 2
Y Level：	色の輝度レベルを調整する。	設定値：	－15 ～ **0**

Color Matrix

映像の色調を調整する。

Gain：	色の濃さを調整する。	設定値：	±50（**±0**）
Phase：	色相を調整する。	設定値：	±18（**±0**）
R-G：	シアンからグリーン、レッドからマゼンタの色調を調整する。	設定値：	±50（**±0**）
R-B：	シアンからブルー、レッドからイエローの色調を調整する。	設定値：	±50（**±0**）
G-R：	マゼンタからレッド、グリーンからシアンの色調を調整する。	設定値：	±50（**±0**）
G-B：	マゼンタからブルー、グリーンからイエローの色調を調整する。	設定値：	±50（**±0**）
B-R：	イエローからレッド、ブルーからシアンの色調を調整する。	設定値：	±50（**±0**）
B-G：	イエローからグリーン、ブルーからマゼンタの色調を調整する。	設定値：	±50（**±0**）

設定項目／内容・設定値
White Balance
ホワイトバランスのシフト量を調整する。 R Gain：　赤色の濃淡を調整する。　設定値：　－50 ～**±0** ～ +50 B Gain：　青色の濃淡を調整する。　設定値：　－50 ～**±0** ～ +50
Color Correction
特定の範囲の色調を補正する。「Chroma Key Corr.」の「Color」が「Off」以外のときは、グレーアウトされ設定できません。 Select Area：　補正する色の範囲をAエリアとBエリアの2種類設定できる。補正は、「Area A」（Aエリアのみ）、「Area B」（Bエリアのみ）、「Area A&B」（Aエリア／ Bエリア両方）を選択できる。 設定値：　**Off**、Area A、Area B、Area A&B Area A Setting：　補正する色の範囲（Aエリア）を設定する。Phase（色相）、Chroma（彩度）、Area（色相の幅）、Y Level（輝度レベル）をそれぞれ設定する。 Phase：　設定値：　**0** ～ 31 Chroma：　設定値：　0 ～ 31（**16**） Area：　設定値：　0 ～ 31（**16**） Y Level：　設定値：　0 ～ 31（**16**） Area A Revision：　Aエリアの色の補正量を設定する。Levelは色の濃さ、Phaseは色相の補正量を設定する。 Level：　設定値：　±50（**±0**） Phase：　設定値：　±18（**±0**） Area B Setting：　補正する色の範囲（Bエリア）を設定する。Phase（色相）、Chroma（彩度）、Area（色相の幅）、Y Level（輝度レベル）をそれぞれ設定する。 Phase：　設定値：　**0** ～ 31 Chroma：　設定値：　0 ～ 31（**16**） Area：　設定値：　0 ～ 31（**16**） Y Level：　設定値：　0 ～ 31（**16**） Area B Revision：　Bエリアの色の補正量を設定する。Levelは色の濃さ、Phaseは色相の補正量を設定する。 Level：　設定値：　±50（**±0**） Phase：　設定値：　±18（**±0**）

MEMO

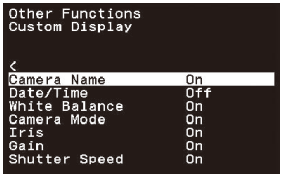
- リモートコントローラー RC-V100（別売）を接続したとき、次の項目はRC-V100のダイヤルで調整できます（本機からは調整できません）。
  - Master Pedestal
  - Master Black Red
  - Master Black Blue
  - Black Gamma
  - Knee-Slope
  - Knee-Point
  - Sharpness
  - White Balance R Gain
  - White Balance B Gain

表示をカスタマイズする

撮影画面の表示項目をカスタマイズして、撮影環境や目的に合わせて、より使いやすいように設定できます。

カスタムディスプレイで設定できる項目

撮影画面に表示する項目を選べます。表示項目の詳細はメニュー一覧の「Custom Display」（53）をご覧ください。



① Other Functionsメニュー ➤「Custom Display」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
③ 設定値を選ぶ ➤ SETを押す。

3 メニュー

メニュー一覧 46

メニュー一覧

本機の機能をメニューで設定します。メニュー設定の基本操作については「メニューで設定を変える」（📖6）をご覧ください。

メニューの階層

Menu

CLOSE

Camera Setup（📖 47）
- Light Metering
- AE Shift
- AE Response
- AGC Limit
- Auto Slow Shutter
- Flicker Reduction
- Shockless WB
- Iris Increment
- Zoom-Iris Correct.
- AF Frame Position
- Focus Limit
- Focus Control
- Tele-converter
- EF-S Lens
- ABB
- Color Bars
- Infrared
- ND Mode
- Periph.Illum.Corr.

Custom Picture（📖 50）
- Select File
- Fine Tuning

Audio/Video Setup（📖 50）
- MIC Power
- 1kHz Tone
- 3G-SDI Mapping
- Rec Command

Other Functions（📖 51）
- Reset
- Time Zone
- Set Clock
- Assignable Buttons
- Power LED
- Fan Speed
- System Frequency
- Frame Rate
- Resolution
- Scan Reverse
- Aspect Marker
- Custom Display
- Camera Name
- Reset Hour Meter
- Firmware

メニューの設定項目

各メニューで設定できる項目の機能と設定値について説明します。初期設定は太字で記載しています。メニューの項目は、他の機能の設定状態によっては表示されないことや、灰色で表示されて使用できないことがあります。

Camera Setupメニュー

設定項目	上段：設定値／下段：内容
Light Metering	Backlight、**Standard**、Spotlight、Selectable
	アイリスを自動調整するときの測光方式を設定する（📖17）。 Backlight：逆光時の暗部をより明るく制御する。 Standard：画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。 Spotlight：スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。 Selectable：設定ページ（ネットワーク経由）で設定した領域が最適な明るさになるように制御する。
AE Shift （Automatic Exposure Shift）	+2.0、+1.75、+1.5、+1.25、+1.0、+0.75、+0.5、+0.25、**±0**、−0.25、−0.5、−0.75、−1.0、−1.25、−1.5、−1.75、−2.0
	自動露出（カメラモードが「Manual」以外のとき）や、プッシュオートアイリスを使用時（カメラモードが「Manual」のとき）に、明るさ目標値を設定して、17段階で露出補正を行う（📖17）。
AE Response （Automatic Exposure Response）	High、**Normal**、Low
	自動露出の応答性を選ぶ（カメラモードが「Manual」以外のとき、またはカメラモードが「Manual」のときにプッシュオートアイリスを使用時）。
AGC Limit （Automatic Gain Control Limit）	**Off (75dB)** ～ 36dB（3dB刻み）
	ゲインの上限値を設定し、ゲインが上がることによるノイズを防ぐ（📖19）。
Auto Slow Shutter	**On**、Off
	カメラモードが「Auto」または「Av」のときのシャッタースピードの動作を設定する。 「Off」にすると、カメラモードが「Auto」のときのシャッタースピードが、現在設定しているフレームレートより下がらない。
Flicker Reduction	Automatic、**Off**
	人工光源のフリッカー低減を設定する。「Automatic」にすると、自動でフリッカーを検知して補正する。
Shockless WB (Shockless White Balance)	On、**Off**
	「On」にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値をなめらかに変化させる。

設定項目		上段：設定値／下段：内容
Iris Increment		**1/2 stop**、1/3 stop、Fine アイリスを調整するときのF値の刻み幅を設定する。「Fine」にすると、「1/3 stop」より細かい刻み幅で設定できる。
Zoom-Iris Correct. （Zoom-Iris Correction）		**On**、Off ズーム操作によりF値が変化するレンズ*を装着時、「On」にすると、設定したF値を保つように絞りを補正する。ただし、絞りが動作するのにともない、若干の輝度のばらつきと動作音が発生する。「Off」にすると、望遠側にズームするに従って、徐々にF値が大きくなる（暗くなる）。輝度変化は少なく、絞りの動作音は発生しない。 * 一部のEFレンズやEFシネマレンズを除く。
AF Frame Position		**Center**、Selectable ワンショットAFでフォーカスを調整する領域を選択できる。 Center：画面中央の被写体にピントが合うようにフォーカスを自動調整する。 Selectable：設定ページ (ネットワーク経由) で設定した領域内の被写体にピントが合うようにフォーカスを自動調整する。
Focus Limit		
	Activate	On、**Off** 設定したフォーカスの制限位置の有効・無効を設定する（📖30）。 「On」にすると、フォーカスの制限位置が有効になる。
	Far	Set、Reset、**Cancel** 装着したレンズの無限遠側のフォーカス制限位置を設定する（📖31）。 フォーカス制限位置が設定されていないときは「Limit Off」、フォーカス制限位置が設定されているときは「Limit On」と表示される。 Set：フォーカス制限位置を設定する。 Reset：設定したフォーカス制限位置を初期化する。 Cancel：設定操作をキャンセルする。
	Near	Set、Reset、**Cancel** 装着したレンズの至近側のフォーカス制限位置を設定する（📖31）。 フォーカス制限位置が設定されていないときは「Limit Off」、フォーカス制限位置が設定されているときは「Limit On」と表示される。 Set：フォーカス制限位置を設定する。 Reset：設定したフォーカス制限位置を初期化する。 Cancel：設定操作をキャンセルする。

設定項目	上段：設定値／下段：内容
Focus Control	**Camera**、Lens フォーカスを調整するときの信号経路を設定する。「Lens」にすると、レンズのアクセサリーを使ってフォーカスを調整できる。このとき、本機のオートフォーカス機能やリモートコントローラー RC-V100（別売）のフォーカス調整はできない。
Tele-converter	4×、3×、2×、**Off** デジタルズームを設定する。拡大率は4倍、3倍、2倍が選べる。映像をデジタル処理するため、画質は劣化する。
EF-S Lens	On、**Off** EF-Sレンズ、またはEFシネマレンズを装着すると、周辺光量の低下が大きくなったり、ケラレが発生したりすることがある。EF-Sレンズ、またはEFシネマレンズを装着してケラレが発生したときに、センサーの切り出し範囲を変更する。「On」にすると、電子的に約1.55倍に拡大するため、画像が劣化する。
ABB (Automatic Black Balance)	**Cancel**、OK ブラックバランスを自動調整する（📖『セットアップガイド』）。
Color Bars	
Activate	On、**Off** カラーバー表示・非表示を設定する。「On」にすると、カラーバーが表示される。 MEMO ● 「On」時は、ネットワーク経由の映像は出力されなくなります。
Type	システム周波数 / カラーバー 59.94Hz / **SMPTE**、ARIB 50.00Hz / **EBU**、SMPTE カラーバーのタイプを設定する。システム周波数によって設定できるタイプが変わる。
Infrared	On、**Off** 赤外撮影を有効にする（📖34）。
ND Mode	**Automatic**、Manual NDフィルターの操作方法を選ぶ。「Manual」にすると、カメラモードが「Manual」以外のときでも、NDフィルターの手動設定が可能になる。

設定項目	上段：設定値／下段：内容
Periph.Illum.Corr. (Peripheral Illumination Correction)	On、**Off** 周辺光量補正を設定する。「On」にすると、レンズの特性によって四隅が暗くなるのを補正する。撮影条件によっては、映像の周辺部にノイズが発生することがある。距離情報を持たないレンズでは、補正量が少なくなる。ゲインが高くなるほど、補正量が少なくなる。EF-Sレンズ、またはEFシネマレンズを装着して「Periph.Illum.Corr.」を「On」にするときは、Camera Setupメニュー ➤「EF-S Lens」を「On」にする。 「Periph.Illum.Corr.」が灰色に表示されて選べないとき ● 取り付けているレンズの補正データが本機にない。

Custom Pictureメニュー

設定項目	上段：設定値／下段：内容
Select File	Off、CP1 ～ CP4、EOS Std.、Wide DR、Canon Log、Blue Scr、Green Scr、**Crisp Img** カスタムピクチャーファイルを選ぶ（📖38）。
Fine Tuning	カスタムピクチャーの調整を行う

Audio/Video Setupメニュー

設定項目	上段：設定値／下段：内容
MIC Power	On、**Off** 外部マイクへの給電を選ぶ。「On」にすると、プラグインパワー給電を行う（📖『セットアップガイド』）。 ご注意 ● プラグインパワーに対応していない外部マイクを接続して「On」にすると、外部マイクが破損する恐れがあります。
1kHz Tone	－12dB、－18dB、－20dB、**Off** カラーバーを表示したときのテストトーンを設定する。
3G-SDI Mapping	Level A、**Level B** 3G/HD-SDI端子の出力信号のマッピング方式を選ぶ。SMPTE ST 425-1規格のLevel A、またはLevel Bに準拠した信号が出力される。

設定項目		上段：設定値／下段：内容
Rec Command		
	Activate	**On**、Off External Recを割り当てたアサインボタンやリモートコントローラー RC-V100（別売）から外部レコーダーへ記録の開始と停止が要求できるように設定する（📖『セットアップガイド』）。
	Remove OSD	On、**Off** 「On」にすると、外部レコーダーへ記録の開始を要求したときに、連動して撮影画面の画面表示を非表示にする。

Other Functionsメニュー

設定項目		上段：設定値／下段：内容
Reset	MEMO ● 本機RESET/REBOOTスイッチでの初期化方法は、『セットアップガイド』を参照してください。	
	All Settings	**Cancel**、OK 本機の設定を初期状態に戻す。（一部のネットワーク設定、日付/時刻、アワーメーター（📖54）は除く）
	Camera Settings	**Cancel**、OK ホワイトバランス、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、NDフィルター、カスタムピクチャー、フォーカスリミットなどの各設定を初期状態に戻す。
Time Zone		UTC－12:00 ～ **UTC+09:00（Tokyo）** ～ ＋14:00 タイムゾーンを設定する。
Set Clock		
	Date/Time	－ 日付と時刻を設定する。
	Date Format	YMD、YMD/24H、**MDY**、MDY/24H、DMY、DMY/24H 日時の表示形式を選ぶ。

MEMO

● 外部レコーダーへ記録の要求をしているとき（📖『セットアップガイド』）は、「Time Zone」と「Date/Time」を変更できません。

設定項目	上段：設定値／下段：内容
Assignable Buttons	
1 2 3 4 (Remote)	(NONE)、One-Shot AF、 Push Auto Iris、**ABB (3)**、AE Shift ＋、AE Shift　－、**Color Bars (1)**、Aspect Marker、**Set WB (2)**、Tele-converter、**Infrared (4 (Remote))**、External Rec、Custom Picture、 Camera Mode ( )内の数字はアサインボタン アサイン1 ～ 4*ボタンに機能を割り当てる。13種類の機能を割り当てられる（📖36、37）。 * アサイン4ボタンは、リモートコントローラー RC-V100（別売）を接続時のみ使用可能。
Power LED	**On**、Off 電源ランプの点灯、消灯を設定する。「On」にすると、点灯する。
Fan Speed	**Automatic**、High、Middle、Low 冷却ファンの動作方法を選ぶ。 Automatic：　本機の内部温度によって、自動的に回転速度を変更する。 High：　常に高速で回転する。 Middle：　常に中速で回転する。 Low：　常に低速で回転する。
System Frequency	**59.94Hz**、50.00Hz システム周波数を設定する（📖11）。
Frame Rate	システム周波数が「59.94Hz」のとき：59.94P、59.94i*、**29.97P**、23.98P システム周波数が「50.00Hz」のとき：50.00P、50.00i*、**25.00P**、25.00PsF* フレームレートを設定する（📖11）。システム周波数や解像度によって、選べる設定値が変わる。3G-SDI信号を出力できるのは、59.94Pか50.00Pのときのみ。 * 解像度が1920×1080のときのみ。
Resolution	**1920×1080**、1280×720 解像度を設定する（📖11）。
Scan Reverse	Both、Vertical、Horizontal、**Off** 映像を垂直（上下）、水平（左右）、両方（上下左右）のいずれかに反転させる。

設定項目		上段：設定値／下段：内容
Aspect Marker		
	Activate	On、**Off** アスペクトマーカーの表示・非表示を設定する。「On」にすると、アスペクトマーカーが表示される。
	Color	Black、**Gray**、White アスペクトマーカーの色を選ぶ。
	Ratio	4:3、4:3 S35mm、1.66:1、1.85:1、**2.39:1** アスペクトマーカーのアスペクト比を選ぶ。
Custom Display		
	Camera Name	**On**、Off 撮影画面に任意のカメラ名を表示する。
	Date/Time	Date/Time、Time、Date、**Off** 撮影画面に日付や時刻を表示する。
	White Balance	**On**、Off 撮影画面にホワイトバランスを表示する。

設定項目		上段：設定値／下段：内容
Custom Display		
	Camera Mode	**On**、Off 撮影画面にカメラモードを表示する。
	Iris	**On**、Off 撮影画面にアイリスを表示する。
	Gain	**On**、Off 撮影画面にゲインを表示する。
	Shutter Speed	**On**、Off 撮影画面にシャッタースピードを表示する。
	ND Filter/Infrared	**On**、Off 撮影画面に光学フィルターの状態を表示する。
	Custom Picture	**On**、Off 撮影画面にカスタムピクチャーのファイル名やプリセット名を表示する。
	Lens Error	**On**、Off 撮影画面にレンズエラーを表示する。
	Temperature Warning	**On**、Off 撮影画面に温度警告を表示する。
Camera Name		A ～ Z、a ～ z、0 ～ 9、!、#、$、%、&、(、)、+、 −、.、=、@、[、]、^、_、`、{、}、~、（スペース） 任意のカメラ名を入力する（最大16文字）。 ジョイスティックを上下に押して文字を選び、ジョイスティックを左右に押すかジョイスティックをまっすぐ押すとカーソルが移動する。MENUボタンでカーソル部分の文字を削除できる。 MEMO ● ここで設定するカメラ名は、ネットワーク経由で設定するカメラ名とは別です。
Reset Hour Meter		**Cancel**、OK 前回「Reset Hour Meter」を行ってからの使用時間をリセットする。

設定項目	上段：設定値／下段：内容
Firmware (撮像部)	0.0.0.0.00 カメラ撮像部のファームウェアバージョン。 MEMO ● 本機のファームウェアバージョンは設定ページ (ネットワーク経由) で確認できます。

その他

トラブルシューティング 58
警告表示とエラーメッセージ 59
索引 60
商標について 62

トラブルシューティング

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、お客様相談センターにご相談ください。

こんなときは	どうするの？	📖
外部モニターに何も表示されない。	システム周波数またはフレームレートが正しく設定されていない。 設定ページの [基本] ➤ [システム] ➤ [システム設定] の [3G/HD-SDI端子] もしくは [HDMI OUT端子] が [無効] になっている。 ● ネットワーク経由で、設定ページから設定を変更してください。(詳細は『操作ガイド ネットワーク編』参照) ● RESET/REBOOTスイッチにより、カメラの設定をリセットすることで、工場出荷設定（システム周波数「59.94Hz」、フレームレート「29.97P」、解像度「1920 x 1080」）に戻すこともできます。ただし、すべての設定がリセットされますので、ご注意ください。(詳細は『セットアップガイド』参照)	11
カメラのボタン操作やリモートコントローラーの操作ができない。	設定ページの [基本] ➤ [システム] ➤ [システム設定] の [ボタン・リモートコントローラー] が [無効] になっている。 ● 設定ページで上記項目を [有効] にしてください。 （詳細は『操作ガイド ネットワーク編』参照）	-

警告表示とエラーメッセージ

撮影画面に警告表示やエラーメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。

警告名／エラー名	メッセージ／画面表示	原因と対処
温度警告（赤文字）	Temp.	本機内部の温度が高くなっている。 ● 冷却ファンの動作方法を「Automatic」か「High」にする。しばらく経っても温度警告表示が消えないときは、本機の電源を切り、温度が低くなるまで使用を中止する。 それでも解決しないときは、お客様相談センターにご相談ください。
冷却ファン警告（赤文字）	Fan	冷却ファンが故障した可能性がある。 お客様相談センターにご相談ください。
レンズ通信エラー（赤文字）	Lens	レンズと正常に通信ができない。 本機の電源を入れ直す、またはレンズ接点を清掃する*。 * 電源をOFFにしてレンズを取り外し後。 それでも解決しないときは、お客様相談センターにご相談ください。
ABBエラー	ABB error ABB ABB error OK	オートブラックバランス（ABB）が正しく動作しなかった可能性がある。 ボディキャップ、またはEFシネマレンズ（『セットアップガイド』）をしっかりと取り付けて、光を遮断してから、もう一度ABBを実行する。 それでも解決しないときは、お客様相談センターにご相談ください。

索引

ア

アイリス……14
アサインボタン……36、37、52
アスペクトマーカー……32
エラーメッセージ……59

カ

解像度……11
カスタムディスプレイ……44、53
カスタムピクチャー……38、40、41
カメラダイレクト設定……13
カメラモード……12
カラーバー……49
クロマキー用撮影・色調整……39、42
警告表示……59
ゲイン……18、19

サ

撮影画面を表示する……9
　：画面表示を消す／表示する……6、10
システム周波数……11
シャッタースピード……20
周辺光量補正……50
ジョイスティック……6
赤外撮影……34
測光方式……17、47

タ

タイムゾーン……51
テストトーン……50
トラブルシューティング……58

ハ

日付と時刻……51
フォーカス……27、28
フォーカスリミット……30、48
プッシュオートアイリス……15
フリッカー……21、47
フレームレート……11、52
ホワイトバランス……23

マ

メニュー
　：基本操作……6
　：メニュー一覧……46

ラ

リセット……51
冷却ファン……52
露出……17、47

ワ

ワンショットAF……28

その他

AEシフト（AE Shift）…… 17、36、47
AGC（カメラモード）……12
AGCリミット（AGC Limit）……19、47
Auto Slow Shutter……12、47
Auto（カメラモード）……12
Av（カメラモード）……12
AWB……23
Canon Log……39、41
Crisp Img……39、41
EF-S……49
EOS Std.……39、41
External Rec……36
Infrared……34、49
Linear……41
Manual（カメラモード）……12
NDフィルター……22
Rec Command……51
Reset……51
Tele-converter……36、49
Tv（カメラモード）……12
Wide DR……39、41

商標について

- microSD、microSDHC、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の米国およびその他の国における商標、または登録商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標、または商標です。

お問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、お客様相談センターをご利用ください。

キヤノンお客様相談センター

ネットワークカメラ / モニタリング機器

☎ 050-555-90074

受付時間 ＜平日＞9:00～17:00（土・日・祝日および年末年始弊社休業日は休ませていただきます）

上記番号をご利用いただけないかたは ☎ 043-211-9622 をご利用ください。
IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。
受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

補修用性能部品について

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後 7 年間です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です）

BIJ-7255-000
© CANON INC. 2019